



広 報

卒業生のお話を聞く会

創立 150 周年を記念して、綾里小学校では、20 代から 70 代までの卒業生の方 1 名ずつを講師としてお招きし、「卒業生のお話を聞く会」を開催しています。この会は、

- ・卒業生の講話から綾里小学校の現在に至るまでのあゆみと歴史を知ること。
- ・先輩方の思いや願いを感じ取り、これから地域や社会を担っていく上での役割について考えること。
- ・母校や地域を大切にしていこうとする気持ちを育むこと。

をねらいとして実施することになっています。

これまで、第 1 回・第 2 回のお話を聞く会をオンラインで実施しました。

第 1 回目のお話を聞く会は、11 月 28 日（火）に、30 代を代表として、平成 8 年度の児童会長を務めた白浜地区の熊谷 栄太（えいた）さんを講師としてお招きしました。熊谷さんは、旧校舎最後の卒業生ということで、今とは違う木造校舎での生活、校庭の遊具の数々の紹介、仮設校舎への引っ越しのことなど、たくさんのエピソードを交えながらお話ししてくださいました。今とは違う小学校生活の様子に、子どもたちは強く興味をもっていた様子です。お話の最後には、「日本中いろんなところに行っているいろんな人に出会い、たくさんの刺激を受けてほしい、それが大人になったとき、必ず人格となり、みなさんを助けることもある。」という熱いメッセージが送られました。



この様子は、 東海新報に掲載されました。



綾里小児童に昔のエピソードを紹介する卒業生の熊谷さん

古里の先輩に学ぶ 卒業生のお話を聞く会

綾里小で
初開催

大船渡市立綾里小学校（渡辺信子校長、児童 75 人）で 28 日、「卒業生のお話を聞く会」が開かれた。児童らが、かつての綾里小を知る古里の先輩から話を聞き、住民が今の子どもたちに伝えたい思いに触れた。

この会は、同校創立 150 周年記念事業の一環で開催。同校の在校生が卒業生から話を聞く機会を設け、学校の歩みを知ろうとの取り組みで、来年 3 月にかけて 20～70 代の卒業生らが登壇することとなっている。

初回のこの日は、30 代の卒業生代表として、平成 8 年度に児童会長を務めた熊谷栄太さん（39）がリモートで講話。改築される前の旧校舎を知る最後の卒業生である熊谷さんは、当時の学校や児童数、校庭で遊んだ思い出、店や人でにぎわっていたまちの様子などを回顧。「児童数が多く、校舎のトイレの数が多かった」「ウニの口開けの日は、男子の大半は学校を休んでいた」などとエピソードを紹介した。

また、「他県との交流行事も盛んにあった」とし、「いろんな場所に行き、いろんな人と会って話して。その経験が、大人になった時に皆さんを助ける。自分のことは自分でやる、他人任せにしない、協調性を持つなど、どこに出ても、誰に会っても動じない、メンタルの強いグローバルな人になって」と呼びかけ、児童らの成長に期待を込めた。

また、第2回目のお話を聞く会は、12月12日（火）に、40代を代表して、今年度の綾里小学校PTA会長である田浜地区の**河原 明洋（あきひろ）さん**を講師としてお招きしました。

河原さんからは主に、以前綾里地区で毎年行われていた町民運動会について話されました。地区



対抗の競技や応援の練習のため、本番当日まで老若男女問わずに力を合わせ熱中して取り組んでいたこと、五年祭を含めて、このような町を挙げてのイベントが盛んに行われていたことなど教えていただきました。綾里が大好きという思いから、今も綾里のために尽くされている河原さんの姿がうかがえました。

最後に子どもたちには、自分の年代以外の人たちとも関わりながら、綾里を盛り上げてほしいという願いが伝えられ、子どもたちの心にも強く響いた様子でした。

この後予定されているお話を聞く会の日程と講師は以下の通りです。

1月30日（火）	50代代表	熊谷 優志（やさし）さん	150周年記念事業実行委員長
2月6日（火）	60代代表	伊藤 力也（りきや）さん	大船渡市議会議員
2月13日（火）	70代代表	熊谷 テイ子さん	元大船渡市教育委員
3月11日（月）	20代代表	千田 究求（きわむ）さん	平成23年度児童会長

※3. 11集会との抱き合わせで実施します。

東海新報（新春号）より

1月1日の東海新報（新春号）では、2面にわたり、綾里小学校が大きく取り上げられました。元気よく校庭を走る6年生児童の姿。そして、本校の創立150周年事業の様子です。

